



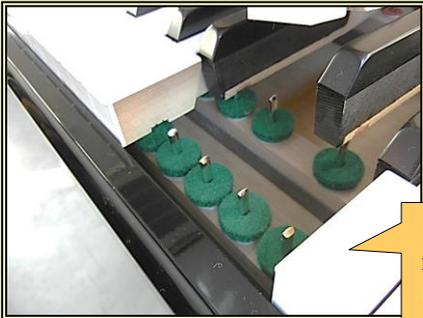
ピアノ調律科2年生

中部楽器技術専門学校 リビルド合宿レポート

2013年10月1日~4日/7日~11日

今日のピアノ市場では、新品の普及とともに中古ピアノがリニューアルされることも多いので、リビルド(再生)技術が求められています。本校ピアノ調律科では、三重県にある研修センターで合宿を行ない、リビルド技術に磨きをかけました。古いピアノであっても素性の良いピアノは優れた設計がされており、貴重な材料が多く使われているため、100年以上の寿命だと言われており、いたんだ部品を修復することで新品とは違ったもち味の素晴らしいピアノによみがえります。

白鍵バフ掛け & 黒鍵塗り



白鍵の傷の程度を確認し、深い傷は先にペーパー掛けをします。その後はいよいよバフ掛けを行います。

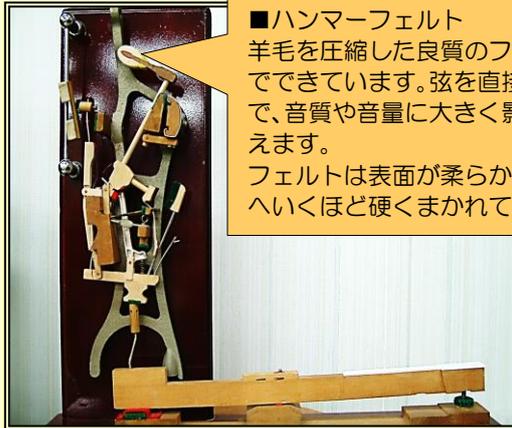


このようにバフ掛けをすることで細かい傷を取り、ツヤを出します。バフ掛けの終了した鍵盤をすべて並べ、全鍵一様にツヤが出ているか、目立つ傷がないかなどを確認します。



白鍵を沈めた時、黒鍵側面の木部が見えないように黒くします。筆で黒鍵側面から手前へ塗ります。

ハンマーの整形



■ハンマーフェルト
羊毛を圧縮した良質のフェルトでできています。弦を直接打つので、音質や音量に大きく影響を与えます。フェルトは表面が柔らかく、内側へいくほど硬くまかれています。

弦を打つ部分であるため、使用することでハンマーフェルトに弦の溝ができ、先端が平らになります。音色は固く変化しなくなり、音量も変化しづらくなります。そのため、正しい形状に戻すことが必要です。



形状は常に卵型を意識しています。ただし、最高音に関しては、卵型だとフェルトがなくなるので、削る量に注意しながら行っています。



調整 & 外装 & 調律



正常な動きと、演奏性を高めるため、鍵盤の動きを無駄なく伝えるように各部の位置を調整しています。



深い傷は、パテを埋め込み、ペーパーヤスリで磨いて直していきます。



品評会

品評会記入用紙		
精 部活番号	楽器	
	外装のキズ	鍵盤
956721	100. コロコロ音がする 上蓋の側面が汚い 鍵盤が汚い	189. 鍵盤の音が悪い とてむきだし 43. のでは
281124	音程のずれが大きい ペダル(0番) 全体的にキズ多	00. 音がうるさい 他の音はいい 7. 鍵盤の音がうるさい 7-1. 鍵盤の音がうるさい
220215	上蓋	

最後は、リビルドを終えたピアノの品評会を行いました。



学生のコメント

●作業計画の作成とそれを進めていく大切さを学びました。

毎日の作業を細かく考えていき、優先順位をつけながら作業計画表を作成しました。作業を進めていく中で、いくつかハプニングもありましたが、作業計画表がしっかりと作られていたため、落ち着いて対応できましたし、作業や時間の無駄を省くことができました。毎日行っていた反省会で改善点を見つけ、次の日の作業計画に活かすことができました。

(三重県出身 男性)

●自分自身の身につけている知識や技術を再確認できました。

今回の合宿で、自分が「知っていることと知らないこと」や「できることとできないこと」を改めて確認できました。方法は知っていても実際目の前にするとわからなくなったりと、リビルド作業の全工程を経験して多くのことを学ぶことができました。苦手な作業もありましたが、だんだんとコツをつかんで早く綺麗に仕上げることができるようになり、「だれでも努力すればできるようになる」と自信になりました。

(北海道出身 女性)

●合宿を通してお客様の視点を持つことができるようになりました。

合宿を通して、お客様の気持ちを考えてリビルド作業を行うことができました。独りよがりにならず、お客様が満足するにはどうしたらよいのかということを学びました。「たくさん弾いてほしい。」「一生懸命ピアノを美しくしよう。」など、想いが強くなりました。

(岡山県出身 女性)

先生へのインタビュー

●リビルド合宿の目的は何ですか???

今回のリビルド合宿の目的は、中古ピアノを査定し、作業計画から仕上げまでの一連のリビルド作業の流れを学ぶことです。学生にはリビルドに必要な作業を行うことで、現在の自分自身の技術力や知識量を確認し、今後の実習に役立ててほしいというねらいもあります。

●学生の取り組みはどうでしたか???

毎日反省会を行い、作業の振り返りの重要性や作業において何ができて何が不足しているかを学生は気づくことができました。さらに、繰り返し作業を行い、最後まで仕上げることにより、苦手な作業を克服できた学生もいました。学生はよく頑張ってくれました♪

●ピアノ調律師を目指している方たちへのコメントをぜひ!!!

国家検定に「ピアノ調律師職種技能検定」が加わり、ピアノ調律師の社会的地位向上が期待されています。「ピアノが好き」「手に職を」などをお考えの方は、同じ仲間とピアノ調律師を目指しませんか。

ピアノ調律科 丸山先生

